

## 1 総会に関する事項

平成27. 5. 29 午後2時から国立新美術館講堂において第79回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- |      |       |                       |
|------|-------|-----------------------|
| 審議事項 | 第1号議案 | 平成26年度事業報告承認の件        |
|      | 第2号議案 | 平成26年度決算承認の件          |
|      | 第3号議案 | 平成27年度事業計画書報告の件       |
|      | 第4号議案 | 平成27年度収支予算書等報告の件      |
|      | 第5号議案 | 定款の一部変更承認の件           |
|      | 第6号議案 | 会員人事報告の件              |
|      | 第7号議案 | 選定顧問報告の件              |
|      | 第8号議案 | 理事の補充承認の件             |
|      | 第9号議案 | 審査員行動基準（ガイドライン）承認の件   |
| 報告事項 |       | 日展規則の一部変更報告の件         |
|      |       | 準会員規則制定報告の件           |
|      |       | 会友規則の一部変更報告の件         |
|      |       | 改組 新 第1回日展巡回展開催報告の件 他 |

## 2 理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成27. 5. 13	第1回	1. 平成26年度事業報告および決算承認の件 2. 定款の一部変更案承認の件 3. 日展規則の一部変更承認の件 4. 準会員規則承認の件 5. 会友規則の一部変更承認の件 6. 「日展審査員行動基準（ガイドライン）」案承認の件 7. 選定顧問承認の件 8. 理事の補充の件 9. 平成27年度日展 展覧会名称の件 10. 平成27年度日展 開催要綱承認の件 11. 平成27年度日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件 12. 各委員会（日展ニュース・出版・広報）の新委員承認の件 13. その他 報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 退会者及び会友辞退者について 改組 新 第1回日展巡回展大阪会場決算書について 平成29年度以降の国立新美術館展示室2Eの使用について
平成27. 5. 29	第2回	1. 準会員の件（準会員（有資格者）の選出） 2. 日展規則の一部変更承認の件

平成27. 7. 28	第3回	<p>3. その他 報告事項 退会者について 他</p> <p>報告事項 準会員辞退者について 会友辞退者について</p> <p>1. 改組 新 第2回日展審査員・係承認の件 2. 巡回展の契約の件 3. その他 審査員の選任に関する申し合わせ(案)承認の件 外部審査員の業務の日当(審査謝金)承認の件 改組 新 第2回日展事務日程承認の件</p>
平成27. 10. 29	第4回	<p>報告事項 第4科・工芸美術 展覧会係の追加について 理事長、副理事長の職務執行状況について 会友辞退者について 巡回展基本作品の運送・展示業者について 他</p> <p>1. 内部通報に関する受付窓口の設置の件 2. 講演会講演料承認の件 3. 改組 新 第2回日展巡回展基本選定作品承認の件 4. 改組 新 第2回日展巡回展陳列指導者の選考承認の件</p>
平成28. 3. 23	第5回	<p>1. 改組 新 第3回日展 観覧時間及び入場料金承認の件 2. 改組 新 第3回日展 出品手数料承認の件 3. 平成28年度事業計画書及び収支予算書等に関する件 4. 会員人事承認の件 5. 準会員人事承認の件 6. 会友人事承認の件 7. 改組 新 第3回日展 オープニング・パーティー承認の件 8. 改組 新 第3回日展巡回日程(案)承認の件 9. 定時総会の日程承認の件 10. 日展改革案実施状況と今後の確認事項の件 11. その他 報告事項 内閣府公益認定等委員会 立入検査について 平成29年度以降の国立新美術館・企画展示室2Eの使用について 巡回展基本作品の輸送・展示業者について 他</p>

### 3 監事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成27. 5. 13	第1回	1. 平成26年度事業報告および決算承認の件

#### 4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成27. 7. 9	第1回	1. 審査員候補者の選考承認の件

#### 5 係(展覧会)会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成27. 8. 7	第1回	1. 展示室 各科割り振りに関する件 2. 入場料金に関する件 3. 特別入場券販売促進に関する件 4. 「日展目録」表紙承認の件 5. 入場券原画承認の件 6. 招待状・資格証・優待証承認の件 7. 各科審査員打合せ会承認の件 8. 係アシスト承認の件 9. 出品者懇親会承認の件 10. 事務日程に関する件 11. 各科展覧会の記録に関する件 12. その他

#### 6 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成27. 10. 1	第1回	1. 各科審査主任承認の件 2. 日展審査員行動基準(ガイドライン)等の確認、審査方針承認の件

#### 7 大臣賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成27. 10. 29	第1回	1. 内閣総理大臣賞の件 2. 文部科学大臣賞の件

## 8 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成27. 10. 29	第 1 回	1. 日展会員賞の件

## 9 委員会等に関する事項

### 委員の就退任に関する事項

平成27. 5. 13 平成27年度第1回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

(平成27～28年度委員)

〔日展ニュース委員会〕

上田勝也 山下保子 斎藤秀夫 根岸右司 中原篤徳 堀内秀雄  
河野榮一 木下五郎 高木厚人 高木聖雨

〔出版委員会〕

市原義之 森脇正人 磯崎俊光 大友義博 堤 直美 村井良樹  
相武常雄 月岡裕二 角元正燦 土橋靖子

〔広報委員会〕

東 俊行 渡辺信喜 小灘一紀 丸山 勉 江里敏明 山崎茂樹  
並木恒延 三田村有純 一色白泉 真神巍堂

### 諮問委員会

平成27年度における会合は1回開催

(第1回)平成27. 11. 25

主な審議事項

1. 日展改革案とその取り組み結果について、事務局より委員に説明、確認した。(第1回)
2. 日展改革案への取り組み結果に対し諮問委員会がどのような評価をするか、という観点から意見交換を行った。(第1回)

## 日展ニュース委員会

平成27年度における会合は6回開催

(第1回)平27.5.29・(第2回)6.18・(第3回)8.28・(第4回)11.20・(第5回)12.3  
(第6回)平28.2.4

主な審議事項

1. ニュース157号の寄稿文(各科地方在住入選者1名 計5名/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ)の校正を行った。(第1回)
2. ニュース157号の掲載内容を検討、決定した。(第1回)
3. 新旧委員の合同会議を開催、経過報告、引継ぎ及び今年度の編集方針を協議した。(第2回)
4. ニュース158号の掲載内容を検討、決定した。(第2回)
5. ニュース158号の寄稿文(美術評論家等4名/各科ベテラン審査員・新審査員3名 計15名/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ)の校正を行った。(第3回)
6. ニュース159号の座談会のテーマ(「改組新 第2回日展審査を終えて—未来へひらく—」)を決定し、出席者の人選等を検討した。(第3回)
7. ニュース159号の表紙について検討した。(第3回)
8. ニュース159号の座談会を開催し、編集企画を検討、決定した。(第4回)
9. ニュース159号(座談会)の校正を行った。(第5回)
10. ニュース160号の掲載内容を検討、決定した。(第5回)
11. ニュース160号の企画(「作家人生—私の仕事—」のシリーズ化/新入選者の寄稿/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ)等、掲載内容について検討した。(第5回)
12. ニュース160号の寄稿文(「作家人生—私の仕事—」計5名/各科新入選者3~9名 計30名/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ2館)の校正を行った。(第6回)
13. ニュース160・161号の掲載内容を検討、決定した。(第6回)

## 出版委員会

平成27年度における会合は3回開催

(第1回)平27.6.18・(第2回)7.22・(第3回)10.29

主な審議事項

1. 新旧委員の引継を行った。(第1回)
2. 改組新 第2回日展の出版企画について意見交換を行った。(第1回)
3. 改組新 第2回日展刊行物の内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。(第2回)
4. 白黒写真の制作中止を決定した。(第2回)
5. 「日展作品集」の初版について、色校正・レイアウト確認を行った。(第3回)
6. 「日展アートガイド」の色校正・レイアウト確認を行った。(第3回)
7. 「日展図録(日)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第3回)
8. 「日展図録(洋)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第3回)
9. 「日展図録(彫)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第3回)
10. 「日展図録(工)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第3回)
11. 「日展図録(書)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第3回)

## 広 報 委 員 会

平成27年度における会合は5回開催

(第1回)平27.4.30・(第2回)5.13・(第3回)6.18・(第4回)9.8・(第5回)平28.2.23

主な審議事項

1. 改組 新第2回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回・第2回)
2. 新旧委員の合同会議を開催、前年度広報活動報告の後、改組 新第2回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第3回)
3. 改組 新 第2回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第4回)
4. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回)
5. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
6. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第4回)
7. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第3回)
8. 講演会・映像による作品解説について検討した。(第1回・第2回・第3回)
9. 特別講演について検討した(第1回・第2回・第3回)
10. 改組 新 第2回日展の企画案について検討した。(第3回)
11. 平成27年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容および実績について報告、問題点を検討した。(第5回)
12. 平成28年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第5回)
13. 「鑑賞プロジェクトチーム」の平成26年度の活動内容を報告した。(第3回)
14. 「鑑賞プロジェクトチーム」の平成27年度の活動内容を報告した。(第5回)

○「鑑賞プロジェクトチーム」平成27年度における会合は3回開催

(第1回)平27.4.28・(第2回)6.27(※代表者)・(第3回)11.22(※任意)

主な審議事項

1. 平成27年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」、親子鑑賞教室、スクールプログラム等)を検討した。(第1回・第2回)
2. 共同制作の内容および展示について検討した。(第2回)
3. 平成27年度の反省点および要望事項等の意見を交換した。(第3回)

## 10 「日本美術展覧会」の開催

### 改組 新 第2回日本美術展覧会

1. 会 期 平成27年10月30日より12月6日まで 33日間

〔休 館 日〕 毎週火曜日 ただし11月3日(火・祝)は開館 11月4日(水)は休館

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

11月12日(木)は「日展の日」 入場無料

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

( ) 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋 画	第3科 彫 刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	452 (-39)	1,967 (-29)	147 (-8)	724 (-72)	8,717 (-483)	12,007 (-631)
入選点数	199 (-6)	587 (-53)	100 (-4)	430 (+34)	952 (+9)	2,268 (-20)
新入選点数	20 (-8)	65 (-1)	7 (-1)	36 (+12)	227 (-47)	355 (-45)

新入選点数は入選点数に含む。

4. 陳列点数

( ) 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋 画	第3科 彫 刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入 選	199 (-6)	587 (-53)	100 (-4)	430 (+34)	952 (+9)	2,268 (-20)
無 鑑 査	133 (-9)	129 (+1)	159 (-4)	131 (-5)	143 (+3)	695 (-14)
計	332 (-15)	716 (-52)	259 (-8)	561 (+29)	1,095 (+12)	2,963 (-34)

無鑑査＝顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 奥田小由女

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審査員	内田 篤呉 潮江 宏三 篠 雅廣	河合 晴生 千足 伸行 土方 明司	武田 厚 仲居 宏二 守屋 正彦	外館 和子 樋田豊次郎 柳原 正樹	角井 博 富田 淳 名児耶 明
	土屋 禮一 ◎山崎 隆夫 中村 徹 渡辺 信喜 荒木 弘訓 加藤 晋 川田 恭子 佐々木 曜 澤野 慎平 能島 浜江 長谷川雅也 朝倉 隆文 大西 守博 北村恵美子 橋本 正弘 藤島 大千 諸星 美喜	◎佐藤 哲 池田 良則 小灘 一紀 斎藤 秀夫 高梨 芳実 根岸 右司 丸山 勉 倉林愛二郎 桑原 富一 武田 敏雄 難波 滋 武藤 初雄 星川登美子 佐藤 祐治 佐藤 龍人 柴田 仁士 日野 功	◎能島 征二 神戸 峰男 佐藤 敬助 齋藤 尤鶴 石田 陽介 上田 久利 熊谷喜美子 寒河江淳二 柴田 良貴 谷口 淳一 山下 清 石崎 義弘 磯尾 隆司 川崎 義昭 一畝田 徹 藤原健太郎 吉岡 徹	◎武腰 敏昭 木下 五郎 小西 啓介 中村 武郎 原 典生 百貫 俊夫 三田村有純 河合 徳夫 桑原 紀子 干田 浩 山本 清 久保 満義 中村三喜雄 林 香君 村田 好謙 森田 清照 安田 佳代	◎黒田 賢一 樽本 樹邨 高木 厚人 吉川 蕉仙 一色 白泉 関 吾心 土橋 靖子 土井 汲泉 内藤 望山 山本 悠雲 吉川美恵子 井上 清雅 伊藤 一翔 岡田 直樹 中路佳保里 永守 蒼穹 綿引 滔天

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	中村 徹 ○渡辺 信喜 荒木 弘訓 加藤 晋 川田 恭子 佐々木 曜 澤野 慎平 能島 浜江 長谷川雅也 朝倉 隆文 大西 守博 北村恵美子 橋本 正弘 藤島 大千 諸星 美喜	池田 良則 小灘 一紀 斎藤 秀夫 高梨 芳実 ◎根岸 右司 丸山 勉 倉林愛二郎 桑原 富一 武田 敏雄 難波 滋 武藤 初雄 星川登美子 佐藤 祐治 佐藤 龍人 柴田 仁士 日野 功	佐藤 敬助 齋藤 尤鶴 石田 陽介 上田 久利 熊谷喜美子 寒河江淳二 ◎柴田 良貴 谷口 淳一 山下 清 石崎 義弘 磯尾 隆司 川崎 義昭 一畝田 徹 藤原健太郎 吉岡 徹	木下 五郎 小西 啓介 中村 武郎 原 典生 百貫 俊夫 ◎三田村有純 河合 徳夫 桑原 紀子 干田 浩 山本 清 久保 満義 中村三喜雄 林 香君 村田 好謙 森田 清照 安田 佳代	高木 厚人 ○一色 白泉 関 吾心 土橋 靖子 土井 汲泉 内藤 望山 山本 悠雲 吉川美恵子 井上 清雅 伊藤 一翔 岡田 直樹 中路佳保里 永守 蒼穹 綿引 滔天



## 6. 授 賞

大臣賞	第1科	内閣総理大臣賞	渡辺 信喜	夏 草
	第2科	内閣総理大臣賞	根岸 右司	北海の岬
	第3科	文部科学大臣賞	柴田 良貴	夕暮れの立像
	第4科	文部科学大臣賞	石川 充宏	佇む王妃
	第5科	文部科学大臣賞	高木 聖雨	駿 歩

日展会員賞	第1科	水野 収	おばあちゃん
	第2科	北本 雅己	クアトロ
	第3科	西村 祐一	花が… (V)
	第4科	尾長 保	籃胎乾漆 記憶の渚
	第5科	吉川美恵子	春日の山

## 特 選

第1科	久米 伴香	そよ風	佐藤 俊介	marginal
	玉置 里美	潮だまり	田村紀美枝	時
	林 秀樹	海 風	福田 浩之	うつろう
	三上 友子	日 々	宮本 脩子	陽光さす
	森 桃子	樹々を望む	安田 敦夫	そののち
第2科	一の瀬 洋	冬の高原	岡本 猛	バタフライ
	児玉 健二	薄羽根	阪脇 郁子	菊川太夫
	佐々波啓子	雲中供養菩薩より「平安の響」	田代 利夫	港の風景
	橋本 一貫	時	松野 行	峠を行く
	山田 郁子	秋日和 (与論島の菊お婆)	吉引 邦子	輪
第3科	伊庭 照実	晨	上田 ふみ	風を集めて
	牛山 政幸	満	小西 徳泉	堂々と '15
	近藤 哲夫	土と生きる	白石 隆幸	春 陽
	鈴木 徹男	道 標	前田 真里	風ひかる今
	宮坂 慎司	yocto-o	森 矢真人	雨 華
第4科	大西 重弘	水の惑星一起ち上がる文明	大橋 敏彦	早春 (芽生え)
	川口 満	未来∞記憶	高名秀人光	漲る
	竹森 公男	残 照	徳力 竜生	LAST MESSAGE
	友定 聖雄	MOONLIGHT	本田 宗也	舞
	南 正剛	氷裂2015	森 克徳	爽 気
第5科	石澤 桐雨	李賀詩	岩田 海道	自 然
	岩村 節廬	荀子語	尾西 正成	鷹を放つ
	関根 玉振	黄庭堅詩	寺坂 昌三	鐘の音
	歳森 芳樹	白樂天詩	松村 博峰	『列子』湯問より
	吉澤 劉石	旅 懐	吉見 靖子	大 空

7. 入場者数 合計133,979人

( ) 前年度比

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	9,330 (-540)	招 待 券	50,736 (+220)
学 生 券	710 (+90)	美 術 学 生 券	719 (+31)
トワイライトチケット ( 一 般 )	3,736 (-651)	小中学生無料鑑賞券	6,467 (+163)
トワイライトチケット ( 学 生 )	354 (-14)	資 格 証	24,073 (+235)
一般券(場外売)	3,829 (-24)	優 待 証	3,637 (-299)
一 般 団 体 券	3,270 (-288)	美術家連盟・評論家連盟	1,166 (-57)
学生団体[高・大]券	740 (+83)		
一 般 前 売 券	1,712 (-390)		
学生前売[高・大]券	28 (-9)		
特 別 入 場 券	17,387 (-575)		
新聞販売店用チケット	6,085 (+949)		
計	47,181 (-1,369)	計	86,798 (+293)

月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)
10/29	木	5,262	11/11	水	2,842	11/24	火	休館日
10/30	金	6,939	11/12	木	(日展の日) 10,995	11/25	水	3,532
10/31	土	3,093	11/13	金	2,752	11/26	木	3,333
11/1	日	2,237	11/14	土	2,899	11/27	金	4,097
11/2	月	1,782	11/15	日	3,235	11/28	土	4,630
11/3	火・祝	2,857	11/16	月	3,007	11/29	日	5,406
11/4	水	休館日	11/17	火	休館日	11/30	月	4,304
11/5	木	2,374	11/18	水	3,444	12/1	火	休館日
11/6	金	2,188	11/19	木	3,856	12/2	水	4,536
11/7	土	2,498	11/20	金	3,438	12/3	木	3,623
11/8	日	2,664	11/21	土	4,530	12/4	金	4,311
11/9	月	2,129	11/22	日	5,352	12/5	土	5,581
11/10	火	休館日	11/23	月・祝	4,251	12/6	日	6,002

※10/29は出陳者内覧会

## 巡回日展

改組新第1回展分を2会場、改組新第2回展分を3会場、計5会場で開催。

	開催地	開催期間	会場	開催者	入場者数(人)
改組新第1回展	福岡	H27. 3.28～H27. 4.19	福岡市美術館	西日本新聞社	18,331
	富山	4.25～ 5.17	富山県民会館美術館	北日本新聞社	28,518
改組新第2回展	京都	H27.12.12～H28. 1.17	京都市美術館	日展京都展実行委員会	32,900
	名古屋	H28. 1.27～ 2.14	愛知県美術館ギャラリー	中日新聞社	51,614
	大阪	2.20～ 3.21	大阪市立美術館	日展大阪展実行委員会	45,465

## 11 美術に関する講演会及び講習会の開催

### 講演会・映像による作品解説

美術評論家が「日展」の各部門について語る。また、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展  
場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料)

	講演会		映像による作品解説	
10月31日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の日本画」 美術評論家 瀧 悌三氏	午後 2:20～ 3:20	「日本画」 鵜飼雅樹 亀山祐介
11月 1日 (日)	午後 1:30～ 2:10	「日展の洋画」 兵庫県立美術館館長 蓑 豊氏	午後 2:20～ 3:20	「洋画」 小灘一紀 西房浩二
11月 3日 (火・祝)	午後 1:30～ 2:10	「日展の彫刻」 美術評論家 市川 政憲氏	午後 2:20～ 3:20	「彫刻」 小野啓亘 九後 稔 堀 龍太郎
11月14日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の工芸美術」 MOA美術館館長 内田 篤呉氏	午後 2:20～ 3:20	「工芸美術」 三田村有純 田中照一 伯耆正一
11月21日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の書」 読売新聞東京本社編集委員 菅原 教夫氏	午後 2:20～ 3:20	「書」 有岡郊崖 土橋靖子 永守蒼穹
11月23日 (月・祝)			午後 1:30～ 2:30 2:40～ 3:40	「工芸美術」 並木恒延 河野榮一 古見準士 「日本画」 丹羽貴子 吉田千恵
11月28日 (土)			午後 1:30～ 2:30 2:40～ 3:40	「彫刻」 田丸 稔 槇野仁一 村山 哲 「洋画」 立花 博 難波 滋
11月29日 (日)			午後 1:30～ 2:30	「書」 中村伸夫 吉川美恵子 綿引滔天

○上記の他、11月12日(木)「日展の日」に特別講演を開催した。

・午後1時30分～2時30分

講師 聖路加国際大学 名誉理事長 日野原重明氏

※総参加人数 2,231名 (特別講演含む)

## らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と1歩近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	日本画	洋画	彫刻	昼食	書	工芸美術
	午前10:45～	午前11:30～	午後12:15～	午後12:50～	午後2:00～	午後2:45～
11月2日 (月)	藤島大千	成田禎介	松田裕康		清水透石	並木恒延
11月9日 (月)	長谷川喜久	町田博文	亀淵元昭		吉澤鐵之	木下五郎
11月16日 (月)	由里本 出	伊藤晴子	平戸司郎		関 吾心	横山喜八郎
11月25日 (水)	平尾秀明	丸山 勉	江藤 望		土橋靖子	武腰一憲

◆参加人数・・・28名（会期中の4日間、全4回）

〃（特別編※団体向け）・・・23名（11/13・20）

○上記プログラムの他に、団体との共同企画により以下の日程で鑑賞会を実施した。

主催 全日空社友会 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	午前11:00～	午前11:45～	午後12:30～	午後1:40～
11月13日 (金)	東 俊行 (日本画)	松田 茂 (洋画)	昼食	(自由鑑賞)
11月20日 (金)	米谷清和 (日本画)	町田博文 (洋画)	昼食	(自由鑑賞)

※総参加人数 23名

## ニ 解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 改組 新 第2回日展会期中の平日（土・日・祝日・初日、11月12日を除く）

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名（5部門）

◆参加人数・・・948名参加（17日間）

## 12 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

### アートスクール

イベントスペースを利用し、「日展アートスクール」を下記日程で開講。(有料)

指導：谷口勇三(日展会友)

- ① 日展アートスクール24 「はじめての陶芸」  
平成27年4月～6月 合計6回開講
- ② 日展アートスクール25 「はじめての陶芸」  
平成27年7月～9月 合計6回開講
- ③ 日展アートスクール26 「はじめての陶芸」  
平成28年1月～3月 合計6回開講

### 親子鑑賞教室

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

後援 こころの東京革命協会

場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室 各科陳列会場

		指 導 者				
		日本画	洋 画	彫 刻	工芸美術	書
11月8日 (日)	午前 10:30～	松崎十朗 野田夕希 岩田壮平 森 美樹	星川登美子 渡邊 明 前原喜好 桑原富一			高木厚人 高木聖雨 河野 隆
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 時光新吾 (指導) 山田朝彦 山崎茂樹 堀内秀雄 中村優子 (サポート) 石黒光二 原田治展 村山 哲 野原昌代 中原篤徳 吉岡 徹 寺山三佳	内藤英治 川本敦久 上原利丸 (サポート) 平林芳子 阿部良美 中村美紀	

11月15日 (日)	午前 10:30～	鵜飼雅樹 能島浜江 朝倉隆文	丸山 勉 天野富美男 菊池元男 西山松生			清水透石 井上清雅 綿引滔天
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 宮坂慎司 (指導) 山田朝彦 山崎茂樹 堀内秀雄 中村優子 (サポート) 石黒光二 原田治展 村山 哲 野原昌代 中原篤徳 吉岡 徹 寺山三佳	小林英夫 加藤令吉 前田和伸 (サポート) 村越郁夫 谷口勇三 谷口直之	
11月22日 (日)	午前 10:30～	亀山祐介 川田恭子 手塚恒治	田辺知治 井上 武 倉林愛二郎 栗原高光			泉原壽巖 師田久子 遠藤 彊
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 山下 清 (指導) 山田朝彦 山崎茂樹 堀内秀雄 中村優子 (サポート) 石黒光二 原田治展 村山 哲 野原昌代 中原篤徳 吉岡 徹 寺山三佳	本間一秋 西片 正 相武常雄 月岡裕二 (サポート) 本間秀昭 角 康二 林 香君	

◎総参加人数 129 組 322 名

## 夏休み1日ART体験「第11回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—  
という日展の芸術文化普及活動。

制作した作品は鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月19日から8月23日まで日展会館において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさんの方が訪れた。

※共同企画の作品は、この他日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会 こころの東京革命協会

場所 日展会館・イベントスペース 他

		指導作家	時間	参加人数	内 容
7月22日 (水)	工芸美術 (陶芸) ①AM ②PM	加藤令吉 林 香君 谷口勇三 (サポート) 井上英基 村越郁夫 谷口直之 大島 徹 床井健一	①10:00 ～ 12:00  ②14:00 ～ 16:00	64 組 116名 (34組57 名・30組 59名)	・『 <sup>おい</sup> 美味しそうなうつつわ』 ●陶芸に関する基礎知識。 ●陶器用の粘土で、基本的な技法を学びながら造形。 参考作品を見て、出来上がりをイメージ。 各自で用意したデザイン画をもとに、「美味しそうなうつつわ」 を意識して完成させる。 ●作品は、(後日)乾燥後釉薬をかけ、焼成。担当作家による仕 上げ、最終チェック。
7月24日 (金)	工芸美術 (染)	安藤タヅ子 石原真理 平林芳子 出居麻美 上原利丸 相武常雄 月岡裕二 (サポート) 山田麻緒	13:00 ～ 16:00	22組 47名	・『みんなの太陽とみんなの海』 一開いてびっく りキラキラ和紙染— ●染色の表現の方法、染料の種類を説明。 ●和紙をたたんで染める。色の組み合わせ、滲み、白く残るとこ ろを想定して染める。 ●乾かした後、団扇に貼る。 ●講評。
7月25日 (土)	日本画	亀山祐介 川田恭子 能島滨江 岩田壮平 (サポート) 米谷清和	11:00 ～ 16:30	30組 50名	・『キラキラ金銀箔で部屋を飾ろう!』 —卓上に飾れるかわいい屏風に岩絵具で絵を描きま す— ●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。 ●画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法に関する知識。 ●屏風の構造、制作の工程を説明。(姫屏風を使用) 箔と砂子の特徴と使い方を説明。 ●作家のデモンストレーション ●屏風に筆で膠をひき、砂子をまく。半紙で押えて乾かす。 ●砂子の上から止めドーサをひき乾かす。 ●各自用意してきたデザイン画を元に岩絵具などで描いた後、さ らに乾かす。 ●講評。 ○自然の色の美しさと調和を実感してもらう。 ○実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。
8月2日 (日)	彫刻	山田朝彦 中村優子 堀内秀雄 山崎茂樹 (サポート) 石黒光二 原田治展 野原昌代 村山 哲 中原篤徳 吉岡 徹 寺山三佳 廣川政和 宮坂慎司 鈴木紹陶武	13:00 ～ 16:00	38組 68名	・『あなたも彫刻家』—彫刻に挑戦!— ●彫刻に関する基礎知識。 ●(子供)木の土台と石膏、紙粘土による制作 「生きるもの」をイメージして作る。台座の上にアルミ線の心 棒と紙粘土の「生きるもの」をジョイントさせる。 ●講評。 (保護者)約10cm位の我が子の横顔のレリーフ ●作品は、乾燥させて固めた後、焼成、額装する。
8月3日 (月)	洋画	成田禎介 田辺知治 丸山 勉 大友義博 難波 滋 星川登美子 茅野吉孝	10:30 ～ 16:00	28組 54名	・『谷・根・干を描こう!』(油彩・水彩) ●午前はF4のキャンバスボードと水彩の画材を持って、寛永寺周 辺でスケッチ。 ●午後はスケッチを基に油彩で着色。 ●作家のデモンストレーション ●油彩画の特徴 油絵具の使い方 ●描きあがった作品にサインを入れる。 ●講評。
8月6日 (木)	書	高木聖雨 高木厚人 師田久子 遠藤 彊 大平匡昭	13:00 ～ 16:00	28組 49名	・『文字の動物園』 ●書に関する基礎知識。 ●好きな動物の字やいろいろな書体をサンプルから探す。 ●ハガキ大の半紙に書いて、裏打ち(表具業者の実演)をし、額 に入れてみる。 篆刻で制作した印を押す。 いろいろな書体、墨の濃淡を試してみる。 ●墨作り職人の実演。練った墨玉を握って、握り墨を体験。 ●講評。



実施内容(共同制作) ※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル	
日本画	『動物(生きもの)大陸』 ●担当作家が描いた大陸に、そこに住む生きものを描く。 ●各自用意したデザイン画を元に描いていく。
洋画	『自分が妖怪になったら』 ●各自で準備したデザイン画を元に、150mm角の段ボールに自分が想像した妖怪を描く。 ●作家が塗った背景に、妖怪を貼りつけていく。
彫刻	『あ、空へ飛んでく』 ●空を飛ぶものをイメージし、各自用意したデザイン画を元に紙粘土で制作。空をバックにしたパネルに貼る
工芸美術 (陶) (染)	『空飛び動物園』 ●各自用意したデザイン画を元に「空飛び動物園」にいる生きものを想像して制作。 ●乾燥、焼成後、染の作品とパネルに貼りこむ。 ●太陽と海をイメージして制作した和紙染を、陶の作品とバランスをとりながら、造形を加え、貼り込んでいく。
書	『文字の動物園』 ●ハガキ大の半紙に好きな動物の文字を書いて、動物園を描いた壁画に貼り、動物園を完成させる。

◎総参加人数 210 組 384 名

## 13 研究冊子及び図書の刊行

### 出版企画実施内容（平成27年度中に刊行または印刷）

#### 改組 新 第2回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁  
[発行日] 平成27年10月30日  
[発行部数] 12,000部  
[定 価] 100円 [税込]  
[内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載  
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載  
[表 紙] 鈴木竹柏

#### 改組 新 第2回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）164頁 598点掲載  
[発行日] 平成27年10月30日  
[発行部数] 6,500部  
[定 価] 2,700円 [税込]  
[内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録  
作家インタビューなど諸資料掲載  
[表 紙] 藤森兼明（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第2回日展アートガイド ―作家のことば―

- [判 型] A5判変型（タテ22cm×ヨコ15cm）216頁 368点掲載  
[発行日] 平成27年11月5日  
[発行部数] 5,500部  
[定 価] 1,000円 [税込]  
[内 容] 主要作品をオールカラーで収録、作家本人による作品解説、釈文(書)付  
各部門の技法解説文など諸資料掲載  
[表 紙] 井茂圭洞（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第2回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）76頁 332点掲載  
[発行日] 平成27年11月5日  
[発行部数] 3,600部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名(読み仮名付)、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 鈴木竹柏（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第2回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）148頁 716点掲載  
[発行日] 平成27年11月5日  
[発行部数] 6,000部

- [定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名(読み仮名付)、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 佐藤 哲 (出品作)  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第2回日展図録 (彫刻)

- [判 型] A4判変型 (タテ29.7cm×ヨコ22cm) 68頁 259点掲載  
[発 行 日] 平成27年11月5日  
[発行部数] 1,100部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名(読み仮名付)、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 能島征二 (出品作)  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第2回日展図録 (工芸美術)

- [判 型] A4判変型 (タテ29.7cm×ヨコ22cm) 120頁 561点掲載  
[発 行 日] 平成27年11月5日  
[発行部数] 2,500部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名(読み仮名  
付)、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 大樋年朗 (出品作)  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第2回日展図録 (書)

- [判 型] A4判変型 (タテ29.7cm×ヨコ22cm) 192頁 カラー169点、モノクロ926点、  
合計1,095点掲載  
[発 行 日] 平成27年11月5日  
[発行部数] 4,100部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録  
作家名・作品題名(読み仮名付)、作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 新井光風 (出品作)  
[製 作] 富士美術印刷株式会社

#### 絵はがき

- [判 型] はがきサイズ (10.5cm×15cm)  
[定 価] 400枚単位—24,000円[税込] (売店販売定価1枚—100円[税込])  
[製 作] 有限会社旭プロセス製版、有限会社藝林社、ニューカラー写真印刷株式会社、  
富士美術印刷株式会社、日展

#### カラー写真

- [判 型] 2Eサイズ (10.7cm×15.3cm)  
[定 価] 10枚単位—6,000円[税込] (売店販売定価1枚—350円[税込])  
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

## 日展ニュースの発行

第157号	平成27年 6月30日発行	発行部数	24,000部
第158号	平成27年 9月30日発行	発行部数	40,000部
第159号	平成27年12月24日発行	発行部数	30,000部
第160号	平成28年 3月17日発行	発行部数	24,000部

## 14 美術に関する研究及び調査

### 日展会館・日展新会館企画実施内容

#### [会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

#### (展覧会)

名 称	展 示 内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
第8回プラチナアート 大賞展2015	平面作品(日本画・油彩・水彩・版画・パステルなど)	平成27年 5月21日～5月24日 日展新会館	96
キン肉マン ～マッスルギャング tribute+(プラス)	アニメ・キン肉マンの原画等	5月29日～5月31日 日展新会館	2,300
第4回流輝会書道展	書作品	7月11日～7月12日 日展新会館	57
高墨展	書作品	8月7日～8月11日 日展新会館	247
日良中弥の雅陶展Ⅶ	陶芸作品	9月19日～9月23日 日展新会館	117
第34回DAAJ展 (全日本歯科美術展)	洋画・陶芸作品等	9月22日～9月27日 日展会館	200
第27回JGS ボタニカルアート展	ボタニカルアートの絵画作品	10月15日～10月18日 日展会館	779
第5回爽創会彫刻展	彫刻作品	10月27日～11月3日 日展新会館	255
国際ヒーリングアート 芸術協会会員展	パステル画作品等	11月12日～11月15日 日展新会館	118
安達雅一作品展 併催 みやび染色教室発表会	染色作品	11月15日～11月16日 日展会館	23
2015居住在成都 ～中国当代油画作品展	洋画作品	12月16日～12月23日 日展会館	86
薬本武則個展	洋画作品	平成28年 3月21日～3月27日 日展新会館	200

(会議・研究会・教室等 使用団体)

アートリンク上野一谷中実行委員会  
藍の会  
阿佐研  
池袋絵画研究会  
一般社団法人 工芸美術 日工会  
一般社団法人 新極美術協会  
芥子園研究会  
株式会社 日本創芸教育  
K. Drawing. A&C  
現代水墨画協会  
現代パステル協会  
公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団  
公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会  
公益社団法人 日本彫刻会  
秀彩会  
新象作家協会  
新日春会  
新日本美術協会  
全国水墨画美術協会  
爽創会  
太陽美術協会  
朝聞書会  
東陶会  
白日会  
蒔絵の会

[自主企画展]

会館スペースを利用し、自主企画展(入場無料)を開催。

名 称	展 示 内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
—所蔵作品展— こども	5部門の作品合計18点	平成27年 4月22日～5月14日 日展新会館	740
—所蔵作品展— 青の世界	工芸美術作品17点	8月27日～9月17日 日展新会館	720